

JNTの伴走支援について

JNTは採択申請者の取組みに伴走し、事業の進捗状況に応じて、関係機関や専門家と協力しながら以下の支援を行います。

- ・地域遺産の保存活用のノウハウや情報の提供
- ・企画支援
- ・活動の幅広い情報発信
- ・市民への啓蒙活動に対する協力
- ・専門家や他の中間支援組織との連携の確保
- ・その他必要な支援

※原則として、JNTが選定し登録した専門家の中から派遣します。採択申請者に希望を聞いたうえで調整を行い、地域の課題や事業内容に対して適切な専門家をJNTが決定します。個人、または複数名によるチームを現地に派遣します。オンラインの相談も可能です。

事業費について

1. 専門家の派遣費用(謝金・旅費)
1採択申請者あたり1年度につき上限100万円(税込)をJNTが負担します。

2. 1以外の、事業実施に必要な費用
※事業費の確保を保証するものではありません。
JNTと採択申請者が協力し以下の方法で確保します。
(1) 補助金や他団体の助成金、クラウドファンディング等の活用
(2) 地域を指定した募金の呼びかけ(特定募金)
※採択申請者のうち、2者以内を対象とします。
採択申請者による事業実施のための活動資金を用途として、採択申請者とJNTが協力し、活動地域内および全国に募金を呼びかけます。募金の管理をJNTが行い、計画書に基づき採択申請者に提供します。

多様な専門家と事業を進めます！

派遣される専門家だけでなく、事業の進捗に応じてJNTが幅広い領域の専門家・実践者と連携し、共に事業を進めます。

<支援事業委員会(本選考会)>

学識経験者で構成します。申請の審査、事業の運営方針や支援の内容等に関してJNTに助言します。

<アドバイザーボード>

実践者を中心に構成します。採択した事業に関し、企画内容や進め方、派遣する専門家、資金調達方法などを検討し事業をサポートします。

資金調達や広報、不動産など、特定の専門領域に特化した専門家も参加します。

公募内容

1. 対象とする地域遺産

文化財等の指定や有形・無形を問わず、次世代に継承すべき地域にとって重要な次の資源とします。

- (1) 地域の歴史・文化を物語るもの
- (2) 地域の貴重な自然美や風土
- (3) (1)、(2)に関連し、地域のシンボルとなるもの

2. 申請できる活動

JNTが定義する地域遺産を対象とした活動など

3. 申請できる組織等

- (1) 営利を目的としない民間の活動団体など
- (2) 自治体(「たねまき」(A型)が対象)

4. 採択数

「たねまき」(A型)、「ひろがり」(B型)あわせて4件程度

5. 事業期間

最長3カ年度

(希望する年数を申請書に記載してください。)

スケジュール(予定)

2024年度	7月	エントリー開始(公募要領公開)
	9月	公募開始
	9月~10月	事業説明会 (個別相談の場を設けます)
	11月	申込締切
	1月~2月	支援事業委員会(本選考会)
	3月	採択結果通知
2025年度	5月	事業開始

※エントリーや事業説明会の詳細、
公募要領は、随時HPやFacebookで
お知らせします。



Facebookのフォローをお願いします。 HP Facebook
公募要領のダウンロードもこちらから。

2025年度

地域遺産支援プログラム ー トラスト・エールー 公募のご案内



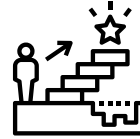
2024年7月 エントリー開始




公益財団法人日本ナショナルトラスト(JNT)は、
地域遺産を活かす皆さんの活動を応援する「地域遺産支援プログラム」を通して、
地域と共に、持続的に地域遺産が守られる「仕組み」づくりに取り組み、
これらが広く社会に普及することを目指します。

公益財団法人日本ナショナルトラスト
(JNT)

< 事業の概要 >

- ・公募を行い、地域遺産を地域が自立的に保存・活用しようとする活動に対して、ソフト面でのサポートを行います（助成事業ではありません）。
- ・JNTは、地域の課題に応じて専門家とチームを組み、地域と協働でプロジェクト型の事業に取組み、伴走支援を行います。
- ・サポートメニューは、地域で活動する団体の組織基盤の強化や、マネジメント体制づくり、調査や計画作成、ファンドレイジングなど様々。地域が資金調達を始めとしたノウハウを得て、「仕組み」をつくることで、事業終了後も活動が継続することを目指します。
- ・地域の希望に応じて支援内容や専門家を選定し、複数年度に渡り、地域の状況に応じて柔軟かつ丁寧にサポートを行います。

「たねまき」(A型) ～活動のための基盤づくり～	
概要	既存の活動が停滞している地域において、主な課題である活動団体の組織強化に取組みながら自発的力を高め、地域遺産を活かした活動を進める事業
対象とする活動団体のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・発足して間もない活動団体 ・運営体制など、組織的な課題が主な要因で取組みが停滞している活動団体 ・課題は理解しているが良い方法が分からない、何から手を付けてよいか分からない活動団体
基本メニュー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動団体の組織基盤の強化 業務の効率化、会費や寄付の強化による財政基盤の向上、スタッフやサポーターの獲得、情報発信力強化など 2. 活動を推進するための課題解決 地域遺産の調査、課題の整理と解決策の検討、地域ビジョンの見える化、ファンづくり、コミュニティづくりなど 3. 事業効果を高めるための活動応援金の提供（1採択申請者につき1回、税込み15万円以内）
こんな課題を解決します	
マンパワーも資金も不足していて、やりたいことに取組めない。	 業務の効率化や、寄付・会員獲得をサポート！活動に協力してくれるサポーターを募集します。
活動が知られておらず協力の輪が広がらない。仲間を集めたいけど、どこに発信して良いか分からない。	 活動団体の活動意義や魅力を再確認し、SNS等を活用して発信。ファンづくりに取組みます。
課題はあるものの、何が必要か、どこから始めてよいか分からない。	 まちづくりの課題を整理し、解決手法を検討します。地域遺産の調査やビジョンづくりに取組みながら、JNTと一緒に活動を進めます。

「ひろがり」(B型) ～地域遺産保全の仕組みづくり～	
概要	自立した活動団体が、既存の活動を発展させるために地域全体を巻き込み、地域遺産保全に向けた持続的な仕組みを構築する事業
対象とする活動団体のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達や運営体制など、組織的に自立しており取組みが継続できている活動団体 ・活動を発展させ、さらに高いレベルの課題解決や新たな仕組みづくりに取組む活動団体（課題が明確で取組みたいテーマや実施内容が決まっている） ・事業を展開するために事業計画作成や専門的な人材・ノウハウ、ファンドレイジングなどを必要とする活動団体
基本メニュー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動団体を中心とした地域全体の体制づくり 地域内コーディネーターの育成、新たな担い手となる外部人材の確保と受入れ、新たな活動団体の発足、マネジメント体制づくり、行政や地域内の他団体との連携促進など 2. 地域遺産保全の仕組みの開発と実行 調査・事業戦略・計画作成、事業化に向けたファンドレイジング、制度活用・事業的手法に関するノウハウの獲得、公益性を高める保存活用の手法や地域遺産の取得などの仕組みづくりなど
こんな課題を解決します	
仕組みづくりのために、地域のマネジメント組織をつくりたい。	 コーディネーターの育成や行政、他団体との連携強化に取組みます。
事業化に向けてファンドレイジングに取組みたい。	 ファンドレイジングの専門家と一緒に体制を含めた「仕組み」を構築。実際に仕組みを動かし、改善までをサポートします。
計画を策定したが実行に移せていない。調査結果を具体的に活かしたい。	 専門家が、制度のメニュー選択や事業企画を支援。さらに、実施体制の確保など、実行段階の課題を具体的に解決します。

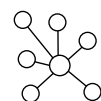
< 事業の6つのポイント >

①地域の状況に応じたきめ細やかなサポート



地域の状況変化に対応し、複数年度に渡るきめ細やかなサポートが受けられます。

②JNTが持つ資源の活用



JNTが関係する企業や中間支援組織のネットワーク、信頼性のある専門家などの人材ストック、JNTが持つ地域遺産保全のノウハウを活用できます。

③地域間の交流



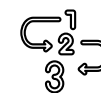
事業に採択された団体（採択申請者）同士の交流や発表の場を設け、仲間づくりや研鑽の機会をご提供します。

④地域に生まれる具体的な変化



地域が抱える課題を分解し、具体策を実行することで地域に変化が生まれます。この変化を契機に、地域の取組みが次のステップへ進むことが期待できます。

⑤資金調達等のノウハウや仕組みを得る



協働して採択申請者の資金調達や事業化に向けたファンドレイジングに取組みます。ノウハウを得るだけでなく、その仕組みをつくることで、事業終了後も地域で取組みが継続されることが期待できます。

⑥地域の活動を全国にPR



地域の取組みや人にスポットを当て、全国に幅広い発信を行います。これにより、地域の認知度向上などを目指します。